

令和6年度事業報告書

令和6年度における事業の状況は、次のとおりであった。

I. 会務・組織運営

1 理事会

- (1) 令和6年5月15日 令和6年第2回理事会（書面決議による開催）
 - ア 志賀町共同募金委員会運営委員の推薦について
- (2) 令和6年6月20日 令和6年第3回理事会
 - ア 令和5年度事業報告の承認について
 - イ 令和5年度計算関係書類及び財産目録の承認について
 - ウ 令和6年度資金収支補正予算（第1号）について
 - エ 職員給与規程の一部を改正する規程について
 - オ 理事候補者の推薦について
 - カ 定時評議員会の開催について
- (3) 令和6年12月24日 令和6年第4回理事会
 - ア 令和6年度資金収支補正予算（第2号）について
 - イ 志賀町共同募金委員会運営委員の推薦について
- (4) 令和7年2月27日 令和7年第1回理事会（書面決議による開催）
 - ア 職員級給与規程の一部を改正する規程について
- (5) 令和7年3月25日 令和7年第2回理事会
 - ア ボランティア活動育成基金の取り崩しについて
 - イ 運用資金積立金の取り崩しについて
 - ウ 令和6年度資金収支補正予算（第3号）について
 - エ 令和7年度事業計画について
 - オ 令和7年度資金収支予算について
 - カ 職員就業規則の一部を改正する規則について
 - キ 嘱託職員等の雇用等に関する規程の一部を改正する規程について
 - ク 育児休業等に関する規程の一部を改正する規程について
 - ケ 職員給与規程の一部を改正する規程について
 - コ 身体障害者等移送サービス事業運営規程の一部を改正する規程について
 - サ 人工透析通院助成事業実施要綱の一部を改正する要綱について
 - シ 役員等賠償責任保険契約について

2 評議員会

- (1) 令和6年4月18日 令和6年第1回評議員会（書面決議による開催）
 - ア 理事の選任について
- (2) 令和6年7月9日 令和6年第2回評議員会
 - ア 令和5年度事業報告の承認について
 - イ 令和5年度計算関係書類及び財産目録の承認について
 - ウ 理事の選任について

3 監事会

- (1) 令和6年6月12日 令和5年度10月～3月の会計監査及び令和5年度決算監査
- (2) 令和7年1月30日 令和6年度4月～9月の会計監査

4 評議員選任・解任委員会

開催なし

5 寄附採納業務

年間寄附件数は 22 件で、現金 6,215,921 円の寄附をいただいた。

E N E O S リニューアルブル・エナジー株式会社から、志賀町社会福祉協議会の名入りのジャケット 50 着とポロシャツ 150 着を無償で提供していただいた。

また、ダイハツ工業株式会社から令和 6 年 2 月から無償貸与され、災害ボランティア活動に使用していた軽トラック 1 台を無償で贈呈していただいた。

【寄附金明細】

(単位：円)

No.	氏 名	住 所	金 額
1	白山 和江	志賀町矢駄	100,000
2	桜井 恭男	志賀町梨谷小山	50,000
3	高田 喜一	志賀町北吉田	100,000
4	故 大石紀子 親戚一同		100,000
5	落合 邦夫	志賀町大福寺	100,000
6	寺口 富雄	志賀町二所宮	100,000
7	細川 秀雄・ヨシエ	志賀町倉垣	50,000
8	匿名	志賀町	30,000
9	匿名	志賀町	100,000
10	昭和 36 年堀松小学校卒業生一同		42,716
11	志賀町婦人加工連絡会		10,000
計			782,716

【ボランティア育成基金寄附金明細】

(単位：円)

No.	氏 名	住 所	金 額
1	高山 千絵	広島県福山市	30,000
2	合同会社 HUGKUMI 代表社員 長井一浩	富山県黒部市	10,000
3	石川県市町村職員年金者連盟富来支所	志賀町	100,000
4	Grape チャリティーコンペ	志賀町川尻	15,396
5	兵庫県防災ジュニアリーダー	兵庫県	100,000
6	兵庫県立舞子高等学校環境防災科	兵庫県神戸市	30,000
7	大田区災害支援ボランティア調整センター	東京都大田区	203,000
8	NPO 法人 Way To The Dream	群馬県太田市	8,778
9	鎌倉市	神奈川県鎌倉市	86,031
10	匿名	石川県	4,400,000
11	匿名		450,000
計			5,433,205

6 基金運用

- (1) 寄附金 230,000 円及びまごころ基金管理にかかる預金利息 350 円をまごころ基金に組み入れた。
- (2) 本会に寄せられた能登半島地震義援金等 5,433,205 円及びボランティア育成基金管理にかかる預金利息 1,085 円をボランティア育成基金に組み入れた。
- (3) まごころ基金から、公用車購入費として 400,000 円を取り崩した。
- (4) ボランティア育成基金から、災害ボランティアセンターの運営費として 502,207 円を取り崩した。

【基金運用状況】

(単位：円)

基金名		志賀町社会福祉協議会 まごころ基金	志賀町ボランティア 育成基金	運用資金積立預金	合 計
令和5年度末		13,234,362	1,723,313	50,886,000	65,843,675
内 訳	増加額	230,350	5,434,290	0	5,664,640
	減少額	400,000	502,207	10,000,000	10,902,207
	差引増減額	△169,650	4,932,083	△10,000,000	△5,237,567
令和6年度末		13,064,712	6,655,396	40,886,000	60,606,108
管 理 内 訳	現金	0	0	0	0
	預金	定期 10,000,000	定期 0	定期 0	60,606,108
		普通 3,064,712	普通 6,655,396	普通 40,886,000	
	その他	0	0	0	0

Ⅱ. 地域福祉活動推進事業

1 地域福祉活動計画の推進

(1) ボランティアのニーズ把握と情報提供

ボランティアセンターにおいてニーズの把握と情報提供や関係機関との連絡調整を図った。

(2) 世代間交流の推進

老人クラブ連合会と小学生が、ペタンクや昔遊びを通して交流する事業の支援を行った。志賀高校の生徒と老人クラブ連合会会員が、eスポーツ体験を通して交流する事業の支援を行った。志賀高校生による復興イベント「志賀フェス」に参加し、老人クラブ会員と生徒が講師として竹とんぼや竹馬、コマ回しなどを行った。

志賀町遺族会による小学生への平和教育事業の支援を行った。

(3) 事業者の協力による見守り支援体制の構築

石川県及び志賀町と協定を締結して見守り活動を行っている民間企業の把握に努めた。

(4) サロン活動や交流活動の支援

社協広報誌「しかふくし」やホームページに現在活動している様子を掲載し、サロン活動の周知を図った。

(5) 福祉関係機関の連携による情報提供の仕組みづくり

地域包括支援サブセンター業務を通じて、地域包括支援センター、福祉・医療関係機関と情報交換を行った。

2 会長表彰の授与

社会福祉活動で功績顕著な方8名に会長表彰を授与した。例年は、社会福祉大会における式典で授与していたが、能登半島地震の影響により社会福祉大会を中止したため、個別に授与した。

3 総合相談事業（町受託事業）

総合相談所を志賀地域・富来地域において毎月1回ずつ開設し、地域住民の日常生活上の心配ごとについての相談に応じ、指導・助言を行った。能登半島地震の影響により4月から7月までは休止とし、8月から開設した。

【月別相談件数】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	休止				0	2	1	1	1	1	1	2	9
志賀	休止				0	0	1	2	6	2	1	2	14

【相談内容】

	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	母子保健・児童福祉	教育・青少年	心身障害者(児)福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	合計
富来				5				1	1			3						1			11
志賀				2								10								4	16

4 高齢者生きがい事業（町受託事業）

令和6年度に能登半島地震の影響により中止とした第5・第6講義を富来活性化センターで開催した。

【講義内容・出席者数（出席率）】

内 容		出席者数
第5講義 3月19日	幸せのきづ（ず）き方 真宗大谷派 明蓮寺 住職 谷野 了 師	160名（35%）
第6講義 3月27日	脳活！ことばの力 ～ことばと音楽でワクワクしよう～ フリーアナウンサー・電卓競技元日本一 重原佐千子 氏	160名（35%）

5 身体障害者等移送サービス事業

福祉車両を富来、志賀共に配置し、公共の交通機関を利用することが困難な身体障がい者や要介護高齢者の外出支援を行った。（利用登録者 65名）

【月別延べ利用者数】

（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
17	15	18	28	28	22	18	26	39	40	34	43	328

6 老人福祉員事業（町受託事業）

町内の一人暮らし高齢者の安否確認や日常生活の支援をすることで、地域で安心した生活が送れるよう412名の老人福祉員を配置した。

【老人福祉員配置状況一覧】

（単位：人）

地 区	一人暮らし		老人福祉員	地 区	一人暮らし		老人福祉員
	男	女			男	女	
高浜地区	53	138	21	福浦地区	16	21	0
志加浦地区	56	75	50	熊野地区	18	31	29
堀松地区	27	41	10	富来地区	30	95	55
上熊野地区	30	37	26	稗造地区	17	18	7
土田地区	40	68	38	東増穂地区	29	51	10
加茂地区	10	16	22	西増穂地区	26	33	26
下甘田地区	14	27	18	西海地区	30	44	19
中甘田地区	36	44	33	西浦地区	30	52	48
				計	462	791	412
					1, 253		

7 高齢者等除雪対策事業（町受託事業）

自力で除雪が困難な高齢者世帯等に対し、小型除雪機等による除雪作業の支援及び融雪剤の配布を行い、安全と安心を図った。（除雪利用件数 富来7件 志賀21件、融雪剤配布件数 富来0件、志賀3件）

8 ひとり親家庭等・低所得世帯学習支援事業（町受託事業）

ひとり親家庭等や低所得世帯の児童に対し、学習指導や日常生活相談などの家庭以外の居場所

の提供を通じた人的支援を行うことにより、学力の向上等を図り将来の安定的な就業と自立の促進につなげるため、参加者を募り学習支援を行った。

(小学生対象 開催時期7月、回数5回、登録人数3名、参加延べ人数9名)

9 福祉サービス利用支援事業(県社協受託事業)

認知症高齢者等、判断能力が十分でない方に対して、金銭管理や福祉サービス利用等の援助を行うことで、地域における自立した日常生活を送れるよう支援した。(4件)

10 広報啓発事業

社協広報誌「しかふくし」を年間2回発行し、ホームページで地域福祉に関する広報・啓発を行った。(ホームページアドレス <https://shika-shakyo.or.jp>)

11 福祉団体事務局

各種団体の事務及び活動の支援を行い、事業の活性化及び自立促進に努めた。(ボランティア連絡協議会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、心身障害者福祉協会、母子寡婦福祉会、遺族会、傷痍軍人会、英霊にこたえる会、赤十字奉仕団、リハビリ友の会、地域福祉推進チーム)

12 人工透析通院助成事業

福祉有償運送を利用して通院する人工透析患者に対して、運送料金の助成を行った。

【月別利用者数】

(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	35

13 フードバンク・フードドライブ事業

企業や家庭で備蓄されている食品の寄贈を受け、生活困窮者や福祉団体など、食の支援を必要としている方へ提供した。(受贈24件、提供46件)

Ⅲ. ボランティアセンター活動事業

1 ボランティアの登録・斡旋・相談

ボランティア活動者を登録し、活動の斡旋を行うとともにボランティア活動に関する相談を受けた。

2 ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動保険等の加入手続きと掛金の助成を行った。(活動保険加入者1,240名、行事用保険4団体、福祉サービス総合補償2件、送迎サービス補償3件)

3 ボランティア活動の支援

古切手、プリペイドカード、インクカートリッジ等の収集と情報提供を行った。

4 ボランティア団体の支援

各団体の活動が計画的・継続的に発展するために相互の連絡調整を行った。

5 各種用具の短期間貸出

ボランティア団体やそくさい会等にレクレーション用具等の貸出を行った。

6 地域介護予防活動支援事業(町受託事業)

高齢者の閉じこもり防止と介護予防支援のため、そくさい会連絡会を年6回開催し、そくさい会へ職員派遣などの活動支援及び指導を行った。

【そくさい会地区別開催一覧】

名称	回数	名称	回数	名称	回数	名称	回数
1・3区小浜	12	緑ヶ丘	12	米浜メンズ	9	給分	12
6区	12	北吉田	12	福野	10	中浜	12
あさひ	12	清水今江	12	大島	12	草江	12
はまなす	12	末吉	12	坪野	10	西海風無	12
東旭	12	釈迦堂	12	甘田	11	赤崎	7
川尻	12	直海	12	ふくら	12		

町	12	米町	12	豊後名	12		
安部屋	12	牛ヶ首	12	中山	10		
安部屋営団	12	仏木	12	富来地頭町	9		
上野	12	印内	12	富来領家町	12		
大津	12	たにや	12	しおさい	12		
小浦	12	安津見	12	富来高田	12		
百浦	12	二所宮	12	富来七海	12		
赤住	12	福井	11	富来生神	12		
のとり	12	米浜	12	稗造健康サロ	11	実施 50 か所	580

IV. 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分金事業

1 一般募金配分金事業

令和5年度に集まった一般募金から配分を受け、福祉教育や地域福祉に関する事業を実施した。

- (1) ひとり親家庭で義務教育が修了する生徒へ記念品を贈呈した。(8件)
- (2) 社協広報誌「しかふくし」を発行し、社協活動のPRを行った。(年3回)
- (3) 外出支援事業として車いすの貸し出しを行った。(富来12件、志賀13件)
- (4) 生活サポート事業として、在宅で援助が必要な要支援者に対して、志っ賀りサポート隊を派遣して一緒に家事援助等を行うことで、自立した生活を支援した。

利 用 者：登録70名、利用者21名、延べ利用件数104件
 サポーター：登録80名、活動者16名、延べ活動件数180件

- (5) 地域支え合いセンターと協力して、仮設住宅入居者の方へ生活用品を贈った。(351世帯)

2 歳末たすけあい配分金事業

令和6年度に集まった歳末たすけあい募金から配分を受け、一般募金配分金と合わせて仮設住宅入居者の方へ生活用品を贈った。

V. 志賀町共同募金委員会事業

1 会務・組織運営

運営委員会、審査委員会、監事会の開催と会計事務を行った。

2 赤い羽根共同募金運動の実施

10月から12月までを運動期間とし、例年は各区への戸別募金の依頼や募金箱の設置を行うが、令和6年度は能登半島地震の影響を考慮して実施しなかった。

【募金内訳】

種 別	件数(件)	金額(円)	備 考
戸別募金	150	37,500	目安額1戸250円
街頭募金	1	19,869	ロッキーマウンテン志賀の郷店
学校募金	3	48,629	小学校1校、中学校1校、高校1校
職域募金	1	30,600	役場職員互助会
法人募金	0	0	
募金箱	0	0	
個人募金	4	34,000	ふるさとサポート募金(全国の方から)
イベント募金	1	23,383	志賀フェス
その他	2	17,019	匿名寄附、預金利息
合計	162	211,000	

【使途内訳】

(単位：円)

種 別	金 額	備 考
広域配分	0	石川県共同募金会へ（免除）
運動経費	0	令和7年度一般募金の活動経費へ（免除）
社会福祉事業配分	211,000	令和7年度の事業へ
災害準備金拠出額	0	令和6年度災害準備金拠出分（免除）
合計	211,000	

3 歳末たすけあい募金運動の実施

1 2月に歳末たすけあい募金運動として、どんたく高浜店で街頭募金(志賀高校生徒)を実施し、31,890円の募金が寄せられた。

4 広報活動

社協広報誌「しかふくし」において、募金活動の周知を図った。

5 町内の福祉団体への事業助成を行った。(老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、母子寡婦福祉会、心身障害者福祉協会、社会福祉協議会) また、ボランティア活動普及のため、町内の学校にボランティア事業に対する助成を行った。(富来中学校、志賀高校)

VI. 日赤志賀町分区事業

1 赤十字社員増強運動の実施

(1) 5月を赤十字運動月間とし、全戸に広報誌を配布した。

10月に全戸に広報誌を配布した。また、志賀地域においては赤十字奉仕団に依頼、富来地域においては集金用封筒を郵送して、日赤会員の会費の徴収を行った。

【社資内訳】

(単位：円)

区 分	金 額
戸 別	37,500
会 費	854,100
寄 附	0
募金箱	0
合 計	891,600

【加入会員数】

(単位：人)

区 分	一般会員 ()は新規加入	赤十字奉仕団
金色有功章	4 (0)	1 (0)
銀色有功章	6 (0)	1 (0)
特別社員	445 (0)	33 (0)
協力会員	35 (0)	108 (0)
合 計	490 0	143 0

(2) 特別社員、有功章社員が死亡した際、日本赤十字社石川県支部長の弔電をお供えした。
(30件)

2 災害救護活動の実施

家屋火災の被災者へ毛布、緊急セットを配布した。(3世帯)

3 大規模災害への対応

日本赤十字社石川県支部から令和6年能登半島地震災害義援金受付の要請を受け、昨年度から継続して受付を行った。

VII. 貸付事業の実施

1 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

(1) 低所得世帯、障害者世帯及び高齢者世帯に対して、その世帯の経済的自立、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることができるよう生活福祉資金の貸付事務を行ったが、令和6年度における貸付は0件であった。

(2) 能登半島地震により被災した世帯に対して、緊急小口資金の特例貸付事務を行った。貸付件数は5件であった。

2 小口貸付事業

緊急に生活資金を必要とする者に対し、生活のつなぎ資金として小口貸付を行い、生活の安定を

図る事業であるが、令和6年度における貸付は0件であった。

VIII. 在宅介護サービス事業

1 居宅介護支援事業

在宅の要介護及び要支援高齢者に対して日常生活を営むために必要なケアプランを作成し、町や福祉サービス提供事業者と連携を図りながら、適切な保健医療・福祉サービスが効果的に提供されるように努めた。

【年度別利用者実績】

(単位：人)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
富来	575	618	787	769	702
志賀	1,188	1,197	1,185	1,183	1,107

【月別利用者数】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	39	46	48	46	49	51	50	52	50	46	48	50	575
志賀	94	96	96	102	101	100	102	100	100	98	98	101	1,188

【要介護度別延べ利用者数 (割合)】

(単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
富来	206(35.8%)	225(39.1%)	91(15.8%)	24(4.2%)	29(5.0%)	575
志賀	323(27.2%)	451(38.0%)	222(18.7%)	136(11.4%)	56(4.7%)	1,188

【月別介護予防ケアプラン作成件数】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
志賀	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2

2 訪問介護事業

要介護高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、在宅で日常生活を営むことができるよう生活援助及び身体介護サービスの提供を行った。

【年度別利用者実績】

(単位：人)

令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
660	872	1,071	1,051	1,011

【月別利用者数】

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
51	54	55	55	56	59	59	55	55	55	53	53	660

【要介護度別延べ利用者数 (割合)】

(単位：人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
214(32.4%)	228(34.5%)	75(11.4%)	67(10.2%)	76(11.5%)	660

【要介護度別延べ提供回数 (割合)】

(単位：回)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
2,250 (19.6%)	3,380 (29.4%)	1,790 (15.6%)	1,192 (10.4%)	2,875 (25.0%)	11,487

3 介護予防・日常生活総合支援事業

要支援高齢者及び事業対象者に対してホームヘルパーを派遣し、必要な援助を行うことで自立した日常生活を継続できるように努めた。

【年度別利用者実績】

(単位：人)

令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
161	221	296	315	323

【月別利用者数】

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
10	11	12	13	12	12	12	11	14	17	17	20	161

【要介護度別延べ利用者数（割合）】 (単位：人)

事業対象者	要支援 1	要支援 2	計
19(11.8%)	21(13.0%)	121(75.2%)	161

【要介護度別延べ提供回数（割合）】 (単位：回)

事業対象者	要支援 1	要支援 2	計
97(11.9%)	72(8.9%)	643(79.2%)	812

4 在宅高齢者軽度生活援助事業（町受託事業）

介護認定で自立と判定された独居高齢者等に対してホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活の援助を行うことで自立した在宅生活の継続及び要介護状態への進行防止を図る事業であるが、令和6年度の利用は0件であった。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
0	0	0	0	0

5 居宅介護事業

障がい者(身体・知的・精神)に対してホームヘルパーを派遣し、身体介護や自立した日常生活を送ることができるよう家事援助等の支援を行った。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
98	168	198	208	191

【月別利用者数】 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
8	7	9	9	10	9	8	8	8	7	8	7	98

6 重度訪問介護事業

重度の肢体不自由または重度の知的障がい、もしくは精神障がいがあり常に介護を必要とする方の居宅に訪問し、入浴、排泄、食事等の生活全般にわたる援助や外出時における移動中の介護を総合的に行うことで、在宅での生活が続けられるように支援を行う事業であるが、令和6年度の利用は0件であった。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
0	0	0	0	0

7 同行援護事業

視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する方等に対してホームヘルパーを派遣し、外出時における移動に必要な情報を提供するとともに移動の援護を行う事業であるが、令和6年度の利用は0件であった。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
0	0	0	0	0

8 移動支援事業（町受託事業）

屋外での移動が困難な障がい者等に対して、ホームヘルパーによる外出の支援を行い、地域での自立生活及び社会参加の促進を図った。

【年度別利用者実績】 (単位：人)

令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
18	21	19	10	11

【月別利用者数】 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2	2	2	2	1	2	0	1	1	2	1	2	18

IX. 地域包括支援サブセンター受託事業（町受託事業）

1 高齢者総合相談支援業務

高齢者の生活・介護などの困りごとについて相談を受け付け、個々の高齢者にどのような支援が必要かを判断し、地域における適切なサービス、福祉・医療関係機関などにつなげる等の支援を行った。（延べ 172 件）

2 権利擁護業務

高齢者の人権や財産を守る権利擁護事業、高齢者自身が自分の判断で財産等を管理することができなくなった時に活用される成年後見制度など、権利擁護に関するサービスや制度を活用するために、行政機関や福祉関係機関につなぎ、高齢者の虐待防止や消費者被害の防止を図った。（延べ 23 件）

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の介護支援専門員や主治医をはじめ、民生委員や老人福祉員等様々な福祉・医療の関係者が連携・協働することで、保健・医療・福祉、その他の生活支援サービスを含め、地域における様々な社会資源を活用し（包括的）、高齢者がどんな心身状態になっても途切れることなく（継続的）、在宅でも施設でも、その人の生活を支援した。（延べ 85 件）

4 介護予防支援と介護予防ケアマネジメント業務

要介護・要支援認定における要支援 1・2 の方及び事業対象者に対する介護予防支援、要介護・要支援状態になる恐れがある方に対するケアプランの作成を行い、適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう必要な援助を行った。（延べ 202 件）

X. 在宅医療・介護連携支援センター受託事業（町受託事業）

1 在宅医療に関する専門相談業務

かかりつけ医や介護支援専門員といった医療・介護等のサービス提供者からの在宅医療サービスに関する相談（訪問診療、訪問看護、後方支援病院等）に対して、必要な情報提供、支援・調整を行った。（延 148 件）

2 病院からの退院調整の支援業務

退院後の円滑な在宅医療を開始する際に支障がある場合、医療機関の地域連携室からの要請に応じ、医療機関が実施する退院調整の支援を行った。（延べ 53 件）

3 多職種・多機関の連携推進

地域の医療・介護等関係者の連携を実現するため、お互いの業務の現状等を知り、顔の見える関係づくりを目的とした研修会等を行った。（53 回）

XI. 災害ボランティアセンター事業（町受託事業）

令和 6 年能登半島地震の被災者を支援するため、昨年に引き続きボランティアの受入れ、関係機関との調整事務などを行った。5 月 31 日から災害ボランティアセンターを富来行政センター車庫に移転した。新規ニーズの減少及び地域支え合いセンターへの移行のため、活動日を 6 月から毎週木・金・土曜日に、8 月から毎週金・土曜日に縮小して継続している。

（令和 7 年 3 月 31 日時点）

月	ニーズ件数				ボランティア 受付（人）
	受付	完了	取消	残り	
R6. 1 月	285	38	21	226	235
2 月	472	421	52	225	2,581
3 月	487	481	62	169	2,619
4 月	537	410	43	253	1,910
5 月	398	425	56	170	1,628

月	ニーズ件数				ボランティア 受付（人）
	受付	完了	取消	残り	
6月	173	246	25	72	701
7月	114	113	13	60	472
8月	57	59	1	57	157
9月	63	58	5	57	198
10月	76	58	7	68	197
11月	67	84	5	46	167
12月	62	65	7	36	112
R7. 1月	48	34	2	48	112
2月	40	29	1	58	93
3月	68	76	3	47	243
累計	2,947	2,597	303	47	11,425

XII. 地域支え合いセンター事業（町受託事業）

能登半島地震により被災した住民の心身の健康の維持、安定的生活の確保及び地域コミュニティの再生を図り、必要な支援を総合的に行うため、7月1日に地域支え合いセンターを設置した。仮設住宅や在宅被災者も含めて全戸訪問を実施し、住民の見守りと相談支援、NPO等による仮設住宅等でのイベント開催等の支援を行った。

【訪問事業実績】

（令和7年3月31日時点）

	応急仮設	みなし仮設	在宅	合計
R6. 7月	679(268)	165(49)	82(42)	926(359)
8月	554(269)	165(64)	335(224)	1,054(557)
9月	382(198)	86(28)	672(290)	1,140(516)
10月	281(148)	88(44)	1,145(636)	1,514(828)
11月	768(330)	69(34)	1,105(526)	1,942(890)
12月	674(276)	98(68)	586(290)	1,358(634)
R7. 1月	444(198)	120(50)	1,052(560)	1,616(808)
2月	388(188)	92(50)	1,198(618)	1,678(856)
3月	472(148)	90(44)	1,264(624)	1,826(816)
累計	4,642(2,023)	973(431)	7,439(3,810)	13,054(6,264)

※（ ）内の数字が面会できた件数、訪問・来所・架電含む

IX. 在宅医療・介護連携支援センター受託事業（町受託事業）

- 1 在宅医療に関する専門相談業務 → 「1. 相談実績」の延べ人数
- 2 病院からの退院調整の支援業務 → 「1. 相談実績」の相談内容のうち、退院支援の件数
- 3 多職種・多機関の連携推進 → 「2. その他」の件数